

苫小牧工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	国語Ⅲ（都市・環境系）	
科目基礎情報							
科目番号	0125			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	創造工学科（一般科目）			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	『精選現代文B 新訂版』（大修館書店）／参考図書は適宜紹介する						
担当教員	平野 摂子,原田 直保美						
到達目標							
1、論理的な文章について、その論理の展開や要旨を捉えることができる。 2、文学的な文章について、その登場人物、情景、心情などを捉えることができる。 3、語句の意味、用法を理解し、文体や修辞などの表現上の特色を捉えることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)			標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
1、論理的な文章について、その論理の展開や要旨を捉えることができる。	論理的な文章について、その論理の展開や要旨を的確に捉えることができる。			論理的な文章について、その論理の展開や要旨をある程度の確に捉えることができる。		論理的な文章について、その論理の展開や要旨を的確に捉えることができない。	
2、文学的な文章について、その登場人物、情景、心情などを捉えることができる。	文学的な文章について、その登場人物、情景、心情などを的確に捉えることができる。			文学的な文章について、その登場人物、情景、心情などをある程度の確に捉えることができる。		文学的な文章について、その登場人物、情景、心情などを的確に捉えることができない。	
3、語句の意味、用法を理解し、文体や修辞などの表現上の特色を捉えることができる。	語句の意味、用法を理解し、文体や修辞などの表現上の特色を的確に捉えることができる。			語句の意味、用法を理解し、文体や修辞などの表現上の特色をある程度の確に捉えることができる。		語句の意味、用法を理解し、文体や修辞などの表現上の特色を的確に捉えることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	近代以降の様々な文章や作品を読解し鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、人生を豊かにする態度を育てる。また、言語文化に対する関心を深め、言語感覚を豊かにし、積極的に国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。						
授業の進め方・方法	基本的には講義形式の一斉授業の形態を取るが、必要に応じて意見交換や討論の時間を設定する。 評価について、前期はForms小テスト30%、確認テスト35%、提出課題等35%の割合で評価する。合格点は60点である。なお、学年末成績が60点未満の場合は、再試験を実施することがある。その場合、上記の比率のまま試験及び課題提出により再評価を行う。再評価を受けた場合の成績は、60点を上限とする。						
注意点	教科書、ノートは毎時間、国語便覧、国語辞書等は、必要に応じて適宜準備をする。授業で扱う教材については、必ず授業前に目を通しておき、授業後は教授された内容を確認しながら、再度教材にあたっておくようにすること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		授業の目的・方針等を理解する。		
		2週	「豊かさとながり」（阿部健一）		文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。		
		3週	「豊かさとながり」（阿部健一）		文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。		
		4週	「豊かさとながり」（阿部健一）		文章の構成や展開に注意して、主題や要旨を捉えることができる。		
		5週	「「考える葦」であり続ける」（小川和也）		語句の意味、用法を理解し、的確に使うことができる。		
		6週	「「考える葦」であり続ける」（小川和也）		文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。		
		7週	「「考える葦」であり続ける」（小川和也）		文章の構成や展開に注意して、主題や要旨を捉えることができる。		
		8週	中間試験		これまでの授業内容を確認する。		
	2ndQ	9週	文学的表現（小説）を読む 余裕派及び夏目漱石について		余裕派及び夏目漱石について理解することができる。		
		10週	『こころ』（夏目漱石）		文学的な文章について、それを展開する上での語句の意味、用法を的確に理解することができるとともに、登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。		
		11週	『こころ』（夏目漱石）		文学的な文章について、それを展開する上での語句の意味、用法を的確に理解することができるとともに、登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。		
		12週	『こころ』（夏目漱石）		文学的な文章について、それを展開する上での語句の意味、用法を的確に理解することができるとともに、登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。		
		13週	『こころ』（夏目漱石）		文学的な文章について、それを展開する上での語句の意味、用法を的確に理解することができるとともに、登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。		
		14週	『こころ』（夏目漱石）		文学的な文章について、それを展開する上での語句の意味、用法を的確に理解することができるとともに、登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。		

		15週	『こころ』（夏目漱石）	文学的な文章について、それを展開する上での語句の意味、用法を的確に理解できるとともに、登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。
		16週	前期定期試験	
後期	3rdQ	1週	論理的表現（評論）を読む 「世界は、いま―「多文化世界」の構築」（青木保）	語句の意味、用法を理解し、的確に使うことができる。
		2週	「世界は、いま―「多文化世界」の構築」（青木保）	論理の展開や要旨を的確に捉え、筆者の発想や視点、論の構成を理解することができる。
		3週	「世界は、いま―「多文化世界」の構築」（青木保）	論理の展開や要旨を的確に捉え、筆者の発想や視点、論の構成を理解することができる。
		4週	「世界は、いま―「多文化世界」の構築」（青木保）	論理の展開や要旨を的確に捉え、筆者の発想や視点、論の構成を理解することができる。
		5週	「「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ」（内田樹）	語句の意味、用法を理解し、的確に使うことができる。
		6週	「「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ」（内田樹）	論理の展開や要旨を的確に捉え、筆者の発想や視点、論の構成を理解することができる。
		7週	「「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ」（内田樹）	展開や要旨を的確に捉え、筆者の発想や視点、論の構成を理解することができる。
		8週	中間試験	これまでの授業内容を確認する。
	4thQ	9週	文学的表現（小説）を読む 舞姫」（森鷗外）	「擬古文による小説の文体や修辞について、その表現上の特色を捉えることができる。
		10週	「舞姫」（森鷗外）	擬古文による小説の文体や修辞について、その表現上の特色を捉えることができる。
		11週	「舞姫」（森鷗外）	擬古文による小説の文体や修辞について、その表現上の特色を捉えることができる。
		12週	「舞姫」（森鷗外）	登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。
		13週	「舞姫」（森鷗外）	登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。
		14週	「舞姫」（森鷗外）	登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。
		15週	「舞姫」（森鷗外）	登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。
		16週	後期定期試験	
評価割合				
		中間・定期試験	課題	合計
総合評価割合		70	30	100
一般的能力		70	30	100